街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

ビバ＊シティ

公益社団法人 石川県柔道整復師会

2014 April

Vol. 07



[特集]講演会／研修会

いきいき健康社会を支えるために…

柔道整復師としてのスキルを磨き続ける！

山中温泉総湯「菊の湯」のしだれ桜

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。
ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

１、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
２、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
３、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
４、学問を尊重し、技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以って接する。
５、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず、患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 みんなの元気を応援します

viva city ビバシティ

2014 April vol.07

C O N T E N T S

1 ［特集］ 講演会／研修会
柔道整復師としてのスキルを磨き続ける!
公開講演会・石川接骨みらい塾
会員学術研究発表
協同組合講演会
各支部講演会

9 サポート接骨石川（SSI）活動報告
①能登和倉万葉の里マラソン2014
②第20回かなざわ市民マラソン

12 トピックス

seminar&
lecture
meeting

学び▶活かし▶情報を発信

［特集］
講演会／研修会

いきいき健康社会を支えるために…

柔道整復師としてのスキルを磨き続ける！

地域の皆様に「はつらつ」とした毎日を送っていただくことが私たち柔道整復師の願いです。石川県柔道整復師会では、さまざまな講演会や研修会を通して会員一人ひとりが施療技術の向上に努めるとともに、健康に役立つ情報の発信を心がけています。

公開講演会
石川接骨みらい塾

開催日■平成26年2月16日(日)
会　場■石川県地場産業振興センター本館

上肢(肩・肘)疾患をどう診るか
～整形外科的立場から～

講師／ＫＫＲ北陸病院 整形外科部長　**小林 尚史**氏



講師の小林先生は肩関節鏡視下手術のスペシャリストであり、日本整形外科医学会認定スポーツ医としてプロスポーツチームのチームドクターやメディカルアドバイザーを務めてこられました。ご自身もスノーボードの準指導員の資格を持ち、スノーボードやウェイクボードをするときは、人間の身体をいかに効率的に使うかを考えながら滑っているといいます。全国の若手整形外科医を指導する立場にもあるという小林先生の講演に、一般参加者を含む120名が耳を傾けました。

＊＊＊

腱板損傷(断裂)の原因として、①肩峰突起との衝突 ②年齢(老化) ③インターナルインピジメント※が考えられます。腱板断裂は ①完全断裂 ②滑液包面断裂 ③関節面断裂 ④腱内断裂の４つに分類され、一般的には棘上筋(肩前

PROFIEL

小林 尚史(こばやし たかし)

金沢大学卒。日本整形外科学会専門医・日本整形外科学会認定スポーツ医。
日本整形外科学会・日本肩関節学会・日本整形外科スポーツ医学会所属。
2010～2011年に柏レイソルのチームドクター・メディカルアドバイザー、2011年に石川ミリオンスターズのチームドクターを務める。

側）が、野球選手やスポーツ選手などは棘下筋上縁（肩後側）が断裂を起こしやすい部位になります。棘下筋が断裂した場合は上腕外旋力低下が、肩甲下筋が断裂した場合は上腕内旋力低下がみられます。また腱板部分断裂の場合は、そのあとも断裂が進行していくため症状が長引きやすく、３～４か月後に筋繊維自体が脂肪変性することがあります。そうなると症状改善が難しくなるため、早めの適切な処置が必要です。

肩関節脱臼の病態には、①Bankart病変（関節包と関節唇が骨から剥がれる）②下関節上腕靭帯の弛緩 ③HAGL lesion（上腕骨側からの関節包剥離）④Capsular tear（関節包自体が破れる）があり、８割がBankart病変です。この場合は、適切な状態で処置をすれば保存療法が可能で、習慣性脱臼や肩不安定症に移行することは少ないと言えます。

これまでは、初期固定肢位として上腕内旋位固定が行われてきましたが、外旋位固定の方が関節包が元の位置に戻ることがわかりました。このため、初期３週間は外旋位固定で、その後２週間は内旋位での三角巾固定が推奨されています。ただほとんどの場合、Bankart病変にほかの病態が合併していることが多いため、早い段階で画像診断を行うとよいでしょう。また関節包が弛緩した場合、ある程度までは元の状態に回復しますが、ある程度以上に伸ばされると元の状態に戻りにくくなります。



外科医であり、自らもスポーツを親しむ小林先生の講義は、非常に興味深くわかりやすかった。


約 120 名の参加者で会場はほぼ満席。

保存療法を行ううえで必要になるのが、正確な診断と治療計画です。まず重要なのは構造的破綻の有無を掴むこと、そして練習を続けることができるかどうか、身体のどこに病変がありどこに問題があるのかを見極めたうえで、患者様の生活様式に合わせた短期（今）・中期（年）・長期（生涯）の見通しを立てる。そして手術が必要な場合は、どの時期に行うのがベストなのかも考慮しなければなりません。

＊＊＊

このほか投球障害肩や肘のスポーツ障害について、また身近な肩関節周囲炎（いわゆる五十肩）についても大変わかりやすくお話していただきました。

※**インターナルインピンジメント**…肩甲上腕関節内で上腕骨頭と肩甲骨（関節窩）の間に関節唇と腱板が挟まれて衝突する現象をいう。インターナルは関節内を、インピンジメントは衝突を意味する。

小林先生のおすすめ図書



『スポーツ整形外科マニュアル』
発 行●中外医学社
監 修●福林　徹
編 集●篠塚 昌述

スポーツ障害の基礎知識や保存療法における競技復帰までの手順など、スポーツ障害を診るうえで知っておくべき知識を厳選して収載している一冊です。

会員学術研究発表

開催日■平成26年2月16日(日)
会　場■石川県地場産業振興センター本館

日々の臨床から得た情報や知識を共有し、会員相互が高めあうことを目指して毎年実施しているもので、今年は４名の会員が発表を行いました（発表抄録より一部抜粋）。

「女子バスケットボール選手における膝前十字靭帯損傷予防プログラムの導入と効果」

能登支部　濱　亮輔会員



日常の業務の合間に携わってきた県立Ｉ高校女子バスケットボール部で、アスレチックトレーナーとして実践したＡＣＬ損傷予防プログラムと効果について、考察を加えて発表しました。

はじめに

過去10年間で、中学・高校女子バスケットボール選手における９例の膝前十字靭帯損傷（以下ＡＣＬ損傷）を経験。うち８例が非接触型損傷であったことから、トレーナーを務める高校女子バスケットボール部にＡＣＬ損傷予防のためのトレーニングプログラムを導入し、一定の効果を得ることができた。

プログラム内容と結果

以下の内容のプログラムを導入して10か月が経過したが、ＡＣＬ損傷の発生はなく非接触型損傷での膝関節外傷および膝蓋大腿関節障害の減少傾向を認めた。

①スタビリティトレーニング（バランスエクササイズ）
②下肢筋力トレーニング
③プライオメトリックトレーニング（ジャンプエクササイズ）

経過と考察

1．女性はジャンプ着地やカッティング動作の際にKnee in－Toe out現象を発生させ易く、ＡＣＬ損傷多発の最大のリスクファクターであると思われる。このことから、正しい下肢動的アライメントの習得および神経筋コントロール機能の改善を目的とした予防プログラムが必要と考えた。

2．神経筋コントロール機能の向上と膝関節の動的安定性が強化されたことにより、靭帯断裂のリスク回避、非接触型損傷での膝関節外傷および膝蓋大腿関節障害の減少を認めたと推測される。

3．性別や競技種目を問わず、小学校高学年の段階からこのプログラムを導入することで正しい下肢動的アライメントが習得でき、損傷リスクはさらに低下するものと考える。

今後は、未来ある若きアスリートたちのため、県内のジュニア世代を中心にこのプログラムの普及に努めていきたい。

「顎関節前方脱臼」
～整復までの種々変化法での試み～

金沢北支部　磯松 俊也会員



成書通りの整復法で充分な整復位を得られなかった場合、わずかな施行変化を加えることで良好な結果を得られるという経験ができたので、それに考察を加えて報告します。

方　法

脱臼整復時の条件は千差万別であり状況に応じて整復体位を選択。思うような結果が得られない場合、わずかな施行変化を加えることで奏功することがある。

例１■ヒポクラテス法

変化①…三指を持ち替える（森法）

変化②…A 他手を重ね押圧（厚巻のタオルを噛ませる）

B 患者に自分の手を咥えさせ持続牽引

例２■口外法 → ボルカース法

今回は恩師・大場昭先生から指導された簡易整復方法を紹介したい。まず、患者を落着かせて筋緊張を取り静かに口を開閉させるが、これだけで自然整復される場合もある。

①できるだけ大きく開口（骨頭引き下げ）

②臼后三角を後下方に軽く押し込み、ゆっくり口を閉じさせる。

考　察

最大開口で脱臼位を強調することは、外側翼突筋付着部に張力が加わり関節円板が前方に引かれ元の水平形に近づくとともに、前関節嚢に対してもその張力が増強され骨頭に対して逆に抑え込む圧迫力が働くこととなる。臼後三角部をわずかに下方に押し、患者には自ら奥歯を噛み締めるようにして閉口させることで関節嚢による張力（牽引力）が増強され、わずかな力で滑らかに移動して解剖学的位置に戻っていく、以後は円板に適合し引き込まれるように自然整復される。

また変化法として厚巻のタオルを当てて牽引力を強化、重ね押圧を加えることも可。

結　論

同じ方法で何回も整復を繰り返すことは、関節構造を痛めつけ患者に苦痛と恐怖心を与える。状況に応じて技を変化させ、冷静かつ的確に対応する心構えが実践においては最も大切なことである。

「腱周囲の損傷に対する超音波ドプラーの活用」

加賀支部　**森田 一哉会員**



ドプラー画像を施療に活かすとともに、インフォームドコンセントに活用することで患者さん自身の病態に対する理解が深まり、積極的な施療協力を得ることができた例について報告しました。

はじめに

生体には栄養や酸素などを供給するための血管が張り巡らされている。軟骨・靭帯・腱などの組織が何らかの原因で損傷し修復される際は治癒力促進のために血管の分枝が活発となり、その役割を終える頃に沈静化する。しかし修復過程を過ぎて炎症が治まっても疼痛のみが残存する症例が存在する。

ドプラー画像活用の効果

上記のような症例の中に、超音波画像観察装置（エコー）のドプラー画像観察で末梢血管の過活動が認められることがある。

この現象は成長期、慢性炎症、組織の損傷と修復期、その他の病的要因によって発生することが多い。血管は末梢神経と対になっているため末梢血管の過活動で神経への刺激が増大し、患部に強い痛みを感じる原因となっているのである。

このような症例に対しては、ドプラー画像で認められた過活動部分に圧迫固定を行って集中的に施療することができる。また、初検時から治癒に至るまでの過程をドプラー画像で観察することで、施術者と患者さん双方で情報の共有ができる。また、患者さんとその家族へのよりわかりやすいインフォームドコンセントが可能となり、患者さん自身の病態

に対する理解が深まることで積極的な施術協力を得ることができ、好結果につながった。

「幼少年の肘関節損傷・固定法の考察」
～Ｌ型副子固定から　Ｌ１型副子固定への効用～

金沢南支部　**山崎 延幸会員**



小児の肘関節損傷について、医接連携となった症例を経験。小児の肘関節損傷の診断方法及び考案したＬ１型副子固定について、整形外科専門医の推薦のもとその効用について発表を行いました。

発表内容

Ｌ型副子と肘関節に内転内旋の影響を受けないＬ１型副子の比較、及びＬ１型副子の作製方法を紹介。Ｌ１型副子による小児肘関節損傷の整復法と固定法について４つの症例を報告した。

結　語

幼少年の肘関節損傷では専門医のＸ線検査でも骨的損傷を検出しない場合もあり、患側と健側を外見から対照して判断、臨床所見で見極める必要がある。また医接連携を進めるうえで、医師からの指導を求めるためにも最大限の応急処置が必要となる。

小児肘関節損傷で骨折端転位の整復及び骨端線の適正整復をし、固定肢位の安定性を求め、Ｌ１型副子固定を考察したところ良好な結果を得た。



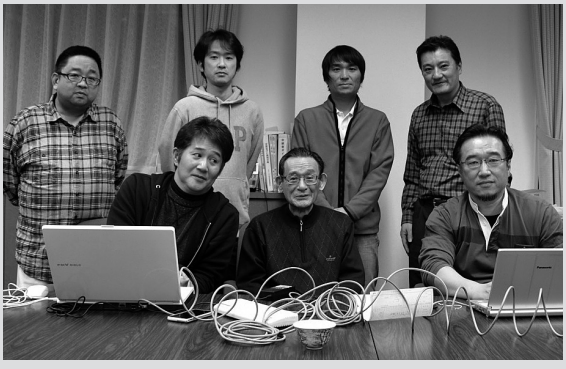
発表を行った皆さん。

ＩＴ講習会　Facebookでもっとコミュニケーションを！

平成26年2月27日(木)、柔整会館でＩＴ講習会を開催し、Facebookのアカウント作成(登録)から写真のアップロード、コメントの書き込みまでを学習しました。

まず、今回の参加者で最年長(79歳)の本会相談役 久世正次会員がFacebookを立ち上げて講習会の写真をアップロード→参加者が久世会員のFacebookに友達リクエストをする→久世会員が承認→参加者がコメントを書き込むという一連の流れを体験し、限られた時間の中で講習内容をすべて達成。参加者一同、久世会員の年齢を感じさせない探究心や向上心に刺激を受けました。

参加者からは、患者さんへの情報発信や災害時の連絡手段としても活用できるのでは、という声が聞かれました。ＩＴ委員会としても、日頃話す機会が限られている会員同士がコミュニケーションをとる手段として大いに活用していただければと願っています。　（ＩＴ委員長　中村茂之　記）



久世相談役(前列中央)の若々しい探究心に脱帽。

協同組合講演会

開催日■平成25年12月8日(日)
会　場■石川県地場産業振興センター本館

石川県柔道整復師協同組合では、本年度から指定業者とのタイアップによる講演会（講習会）を行っています。第２回講演会はユニオントゥラスト様のご協力により二部構成で実施し、先進医療やセカンドオピニオンについて専門家の話を伺いました。



講演に先立ち挨拶を行う
橋本大衛協同組合理事長。

第１部

先進医療について
～セカンドオピニオンの大切さ～

**講師／メットライフアリコ生命保険株式会社
フィールドラーニング開発本部トレーナー
松本 英司氏**

突然、医師から「がん」を宣告されたらあなたはどうしますか？がんになる確率は男性で58%、女性で43%です。医学が進歩した今日ではいろいろな治療法があり、医師によって治療方針が異なることも少なくありません。主治医以外の医師の意見も聞いて、あなた自身の事情や価値観に最も適した納得できる治療法を選択することがとても大切です。



「セカンドオピニオンで納得の治療を」と松本氏。

そこで必要なのがセカンドオピニオン―主治医以外の医師の「第２の意見」を聞くことです。あなたが加入している保険にセカンドオピニオンを受けられるサービスがついているか、今一度ご確認ください。





参加会員の関心も高く、質問の内容も具体的だ。

第２部

切らずに、副作用の少ないがん治療
～よくわかる陽子線 がん治療～

**講師／医学物理士・
福井県立病院陽子線がん治療センター
佐々木 誠氏**

従来の放射線治療で使われてきたＸ線は、体の表面近くで放射線が照射されます。一方、陽子線は身体のある深さで放射線が最大になるという特徴があり、これを生かしてがん病巣のみを集中的に破壊できるため、高い治療効果を実現できるとともに正常組織への損傷が少ないという利点があります。手術と比較して体にかかる負担も少なく、仕事をしながら通院による治療も可能で、高齢の方にも優しい治療法です。



最新の治療法について詳細に説明をされる佐々木氏。

陽子線治療の詳しい内容については、ホームページをご覧ください。

陽子線治療の手順や日数など詳しくご説明いただいた後、質問を受け付けました。前立腺がんの治療法や治療後の状況について、治療費の支払いについて、福井県立病院で陽子線治療を受けるにはまずどこの病院へ行けばいいかなど具体的な質問に、聴講者の関心の高さがうかがえました。

■福井県立病院陽子線がん治療センター
http://info.pref.fukui.jp/imu/fph/youshisen

各支部講演会

県内4つの各支部においても、それぞれ独自の講演会、研修会を実施しています。

能登支部公開講座

開催日■平成25年11月17日(日)
会　場■ラポルトすず

アスリートそしてコーチの視点からスポーツトレーナーに求めるもの

講師／珠洲ドリームキッズ代表　浅田 久美氏



自身の体験をとおして、選手にとってスポーツトレーナーの存在がいかに重要かを語る浅田さん。

講師の浅田久美さん（旧姓：長谷場）は、岩手県釜石市出身、ウェイトリフティングの選手として全日本選手権12連覇を含む13回の優勝をされたほか、世界選手権では10回の出場の中で銀メダルを3度獲得、指導者としては2004年のアテネオリンピック、2008年の北京オリンピックでウェイトリフティング女子日本代表監督を務めるなどのご活躍をされました。

講演では、アスリートとして、またコーチとしてのご自身の体験をとおして、ケガや不調を感じたときに身体だけでなくメンタル面

柔道整復師にとっても励みになる講演だった。



でも自分を理解してくれるスポーツトレーナーの存在が、選手にとっていかに重要かを話されました。「オリンピックでも、常日頃から自分をケアしてくれているスポーツトレーナーが競技会場に帯同してくれることが選手の心の支えになります。柔道整復師の皆さんにその役割を担っていただくことを強く望むとともに、その活動に誇りを持ってください」と励ましの言葉をいただきました

加賀支部公開講座

開催日■平成26年1月26日(日)
会　場■加賀市文化会館

断捨離

講師／断捨離トレーナー　北林 ちかこ氏

「断捨離」とは、不要なモノなどの数を減らして生活や人生に調和をもたらそうとする生活術や処世術であり、単なる「片づけ」や「整

理整頓」とは一線を画します。

断捨離を実行するには、まず家の中に溢れているモノの中から“自分のお気に入り”を選んでいくことから始めます。それには、**分別→分類→選択→厳選**の４つのレベルがあるということです。

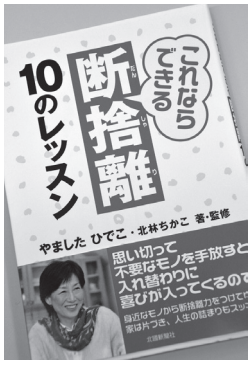


「断捨離」の進め方を説明するトレーナーの北林さん。

❶使えないモノ、使わなくなったモノを「**分別**」して捨てる
❷使えるけれども自分はもう使わないと思うモノを「**分類**」して捨てる
❸今は使っているけれど、もう使いたいと思わないモノを「**選択**」して捨てる
❹絶対に必要な**お気に入りだけを**「**厳選**」して残す

部屋が片付かない最大の理由は、自分が持っている空間と時間、エネルギーに対してモノの量が多いからです。家の中にモノが増えれば快適に過すための空間が圧迫されて狭くなり、片づけるためには膨大な時間とエネルギーが必要で「忙しい！」「疲れた！」となる。それは住まいにとどまらず、思考や人生そのものにも及ぶということです。

捨てるということは、簡単なようでとても難しいことだと思いますが、まずは目標をもって思い切って目の前にある不要なモノを一つ取り除くことから実践したいですね。



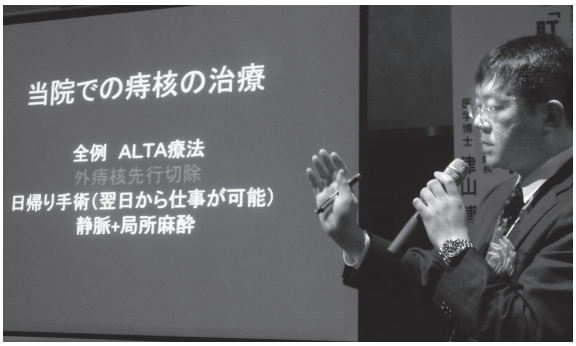
断捨離の提唱者やましたひでこさんとの共著『これならできる断捨離10のレッスン』。

金沢南支部講演会

開催日■平成26年2月23日（日）
会　場■金沢国際ホテル

肛門疾患 特に痔核の治療について

講師／津山クリニック院長
医学博士　津山　博氏



肛門疾患の治療法は進んでいるが軽く見るのは危険だ。

まず患者さんとの信頼関係を築き、選ばれる医院となることが重要であると前置きして、肛門疾患の治療について柔道整復師が知っておきたいポイントを中心にご講演をいただきました。

痔の予防法として、①毎日ゆっくり入浴し、石鹸でゴシゴシ洗うのではなくお湯で流すようにする ②便秘や下痢にならない食事の工夫、特に食物繊維（水溶性と不溶性の２種類）や水分を摂る ③トイレで強くいきまない ④温水洗浄器の水圧は弱めにして刺激し過ぎないようにすることなどをあげられました。

治療法として保存療法と手術がありますが、先に外痔核を切除して内痔核にＡＬＴＡ（ジオン）注射を行う方法であれば痛みも少なく患者さんの負担も軽い。午前に手術して午後には帰宅、翌日から社会復帰も可能だとのことです。

３人に１人は発症するといわれる痔ですが、間違えやすい病気として大腸癌や直腸癌等重大な病気があります。放置せず、検診で早期発見・早期治療をおすすめします。

Support Sekkotsu Ishikawa
SSI
サポート接骨石川

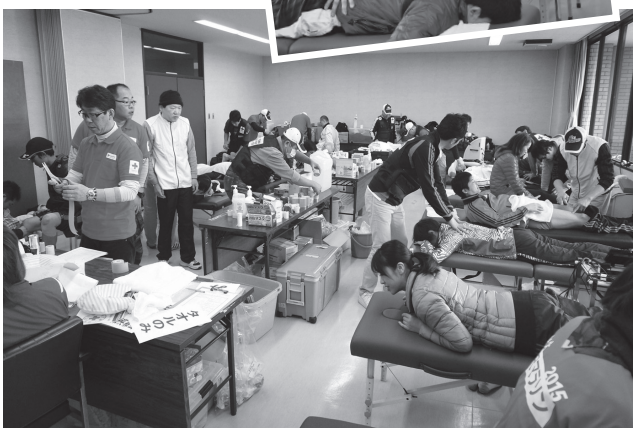
サポート接骨石川（SSI）活動①

能登和倉万葉の里マラソン2014

平成26年3月23日（日）、七尾市和倉温泉周辺を主会場として「能登和倉万葉の里マラソン2014」が開催されました。地域ぐるみで盛り上げているこの大会に、本会サポート接骨石川・赤十字奉仕団がボランティアとして参加。能登支部や各支部からの総勢40名で出場選手のケア・サポート活動を行いました。



まるで別の身体にように楽になったという声も聞かれた。



評判を聞いてブースに訪れた選手も多かった。

過去最高の593名をケア

世界農業遺産の認定を受けた能登の自然を体感できるコースを走る「能登和倉万葉の里マラソン」は競技と観光の両面から人気が高く、本年のエントリー数は各部門の合計で8,529名！過去最高となりました。またコースの途中には、中学生による吹奏楽の演奏や地域の方々による沿道の声援があり、各エイドステーションで用意される充実した飲食物など、ランナーの方々にとって魅力あるものとなっています。

大会当日の23日（日）は本会会員34名とＩＳＴ、業者の協力も得て総勢40名のスタッフで朝7時からサポート活動を開始し、終了する午後5時までに593名の選手にケアブースを利用していただきました。これは過去最高の人数で、スタッフ総出でストレッチやテーピングなどの処置を行ないましたが、ピーク時には並んでお待ちいただくことに。そこで急きょ、廊下にマットを敷いてケア行うという対応をとりました。

毎年大会当日は寒く、気温が低い中を力走するため低体温症の症状を呈する選手がみられますが、本年は晴天に恵まれ、安定した走りができる選手が多かったように思います。

1/19（日） 大会に向けて、事前研修会を開催

平成26年1月19日（日）、七尾市能登食祭市場2階「パーラーのと」において能登和倉万葉の里マラソンの事前研修会を実施。アスレチックトレーナーとして活躍している河合甚敏会員・濱亮輔会員を講師に、ランナーに多くみられる下肢のスポーツ傷害を中心に、各症状に対する対応や偏平足など個人の身体的な特徴を考慮したテーピングやストレッチ等の実技を行いました。



実技講習を行う河合会員（左）と濱会員。

サポート接骨石川（SSI）活動報告



■ 本気のお・も・て・な・し

1,500名を超えるボランティアの方々がこの大会の運営を支えています。大会前日の22日（土）には初の試みとして、七尾市大会組織委員会主催の「能登和倉万葉の里2014交流会」が実施され、不嶋豊和七尾市長をはじめ協賛企業・各ボランティア団体が参加。本会からは堂本義邦総務部長が出席して各代表者の方々と交流を深め、意見交換を行いました。昨年「おもてなし」という言葉が流行語となりましたが、主催者・ボランティア参加者・地域住民



帰ってきた
ウルトラマン!



お母さんと
一緒にゴ～ル。

ブースの外まであ
ふれるケア希望者。



通路も使って選手
たちをケアするス
タッフ。





ケアを受けた選手より

フルマラソン出場 28歳・男性（愛知県在住）

2週間前に左足を軽く捻挫してしまい、自己流のテーピングをしながら練習していました。ここでテーピングをしてもらったら、自己流とは全然違う！しっかりしているのに動きやすく、本当に楽です。今回は無理かなと思っていましたが、完走できそうです。

親子ペア完走 32歳・女性（加賀市在住）

旦那が「10キロ」を、私は子どもと一緒に「親子ペア」を走りました。皆さんに応援してもらって走るのは気持ちよかった。途中で少し足が痛くなったので心配でしたが、ここでケアしてもらったので安心して帰れます。

10キロ完走 39歳・女性（富山県在住）

ランニング友達と一緒に来ました。大会前の調子が良くなかった友達が、スタート前にここでケアしてもらったら急に調子がよくなって自己ベストを出したんです。来年は私も走る前にケアしてもらおうと思っています。

フルマラソン完走 43歳・女性（野々市市在住）

天気もよかったしタイムも思ったより良かったし、完走できたうえに最後は漫才みたいに面白い先生にケアしてもらって体もすごく楽になりました。階段を上がって来る時とは違う体みたい！

フルマラソン完走 57歳・男性（大阪府在住）

石川県で走るのは初めてです。「ゴールのところでケアしてもらえていいよ」と聞いていたので、来てみたら本当にすごくよかった。帰ったらランナー仲間にしっかりと伝えたいと思います。このあと温泉に入ってゆっくりします。ありがとうございました。

が一体となってランナーを本気でおもてなしするこの大会のケア・サポートは、たいへん充実したものとなりました。

【施術データ】

参加選手数	利用率	ケア人数（593人）	
8,529人	6.9%	男性345人	女性248人

Support Sekkotsu Ishikawa SSI サポート接骨石川

サポート接骨石川（SSI）活動②

第20回 かなざわ市民マラソン



雨の中を
飛び出していく選手たち。

平成25年11月10日（日）に第20回かなざわ市民マラソンが開催され、石川県スポーツトレーナー連絡協議会（以下、ＩＳＴ）からの依頼を受けて、本会のサポート接骨石川（以下、ＳＳＩ）の14名がケアサポート活動に参加しました。

活動参加者が集合する朝５時30分の時点で、天候は強風と雨！ 最悪の条件での開催となりましたが、約4000名のランナーが参加出場し、10キロ、５キロ、３キロの男女・年齢別の33部門にわかれて発着地点の金沢市営陸上競技場を飛び出していきました。選手たちへのサポート活動はＩＳＴと協同で行い、スタート前はコンディショニング、テーピング、ストレッチを中心に、またゴール後は悪天候の中を走りきった選手たちのコンディションの調整やストレッチを行いました。

この大会は平成27年の北陸新幹線開通に合わせて「金沢シティーフルマラソン」となり、ＩＳＴが中心となってＳＳＩが全面協力するというサポート体制になります。活動の拠点となるトレーナーブースはスポーツドクターやその他の医療従事者で構成され、平成27年度の大会には約１万人の参加者が見込まれています。今回はその規模を想定しての活動となりました。


テーピングを
施す。


ゴールした選手たちが続々と訪れる。


一緒に活動した他の団体のメンバーと。


ＳＳＩからは14人が参加。

トピックス①

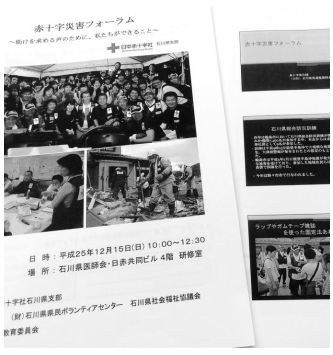
赤十字災害フォーラムに参加
～助けを求める声のために、私たちができること～



平成25年12月15日(土)、石川県医師会館・日赤共同ビルにて日本赤十字社石川県支部主催赤十字災害フォーラムが開催されました。

まず『日本赤十字社における大規模災害への備え』と題した基調講演が行われ、過去の大規模災害での活動と今後の災害に備えるうえで重要な事柄等について日赤救護・福祉部災害対策企画室参事の谷田健吾氏が話をされました。

続いて、池田幸應金沢星稜大学人間科学部教授をコーディネーターにパネルディスカッションが行なわれ、本会の２名がパネリストとして参加。堂本義邦総務部長、中田健市学術部長が柔道整復師奉仕団の活動報告を行いました。各奉仕団の中では唯一の職能団体であり、専門的な活動となるため他の奉仕団との連携が当会の問題点です。唯一百万石行列救護活動が他の団体との協働の場であり、今後はこういった横のつながりも重視していきたいと発表しました。



パンフレットの表紙には当会で撮影した写真が!

当会の他には、石川県社会福祉協議会石川県県民ボランティアセンター、かほく市赤十字奉仕団、防災ボランティアがパネリストとして報告を行いました。

トピックス②

岩井柔道塾で健康柔(やわら)体操普及活動を実施

平成25年12月22日(日)午後１時より金沢市の岩井柔道塾において、健康やわら体操普及委員会による普及活動を行いました。健康柔(やわら)体操は、柔道の形を基本とした動きと呼吸法により健康を増進させることを目的とした体操で、これまで高齢者施設等さまざまな場所で普及活動を行ってきました。今回参加されたのは柔道経験者ということで、動きが軽やかで形も上手に決まっていました。

なお健康柔(やわら)体操は、平成25年８月よりロコモティブシンドローム(寝たきりを起こす運動器疾患)を予防するために体操内容が変更となっています。詳しくは(公社)柔道整復研修試験財団ホームページをご参照ください。



さすが柔道経験者!
形も決まっています。



丸田会員が手取り足取り。

■公益社団法人柔道整復研修試験財団
http://www.zaijusei.com/

編集後記


佐　藤

❖今年の「能登和倉万葉の里マラソン」は春場所の千秋楽と重なったため、県外の選手や応援の人たちが「遠藤」の話をしているのをよく耳にしました。地元だけでなく全国から注目されているのでケガに気をつけて頑張ってもらいたいです。「え、鶴竜が横綱になった？ふーん。大相撲なんて偉そうに言ってるけど、モンゴル相撲でいいんじゃねえの」と冷たいことを考える私は、「遠藤」だけ応援するファンです。　（中野　記）


錦　川

❖敦賀から国道27号線を若狭駅で右に折れてしばらく走ると、道の両側に梅畑が現れる。湖を囲むように延々と続く梅街道である。およそ7万本の梅が咲き乱れているそのほとんどが白梅である。山裾まで広がる梅林の中をゆっくりと進んでいくと、時折紅梅や枝垂れ梅を目にとめることができる。桜ほどの人を引きつける力はないにしても、春霞の中咲き誇るこの光景はまさに春である。
（小松　記）


中　野

❖86歳の母親が「反故紙を糊で張り合わせて柿渋を引き、衣類、敷物、包紙などに使っていたものだ。あれはよかったねえ」と昔話をした。渋紙とも柿紙とも言われたらしい。防水・防腐効果のある柿渋は漁網に塗られ、番傘や雨合羽にもなった。なんとなく幼いころ目にした記憶が戻ってきた。そこで柿渋をネットで調べてみたら広島大学大学院の先生方が手足口病などの感染症を引き起こすさまざまなウィルスやノロウィルスなどを退治できるとあった。商品化したスプレーがあったので早速買い求め、シュッシュしまくりました。
（橋本　記）


小　松

❖今年は、ムーミンの原作者トーベ・ヤンソンの生誕100周年です。今でも世界中で愛されるムーミンとその仲間たちの魅力。それはキャラクターの可愛さだけでなく、ムーミンとムーミン谷の住人たちとのあたたかく愉快な付き合い方と、フィンランドをイメージさせる情景にあるそうです。大人になってから読むと、子どもの頃と違った世界観が見え、人生の迷路から抜けられるヒントがあるかも…。　（太田　記）


橋　本

❖平成元年に消費税3％が施行され、平成9年に5％に、そして今年平成26年4月より8％に増税されました。私たちを取り巻く環境も刻一刻と変化しています。この変化を味方につけてみんなで幸せになりましょう＼(^O^)
維新会（日本治療院経営研究所）代表 松下展平氏の格言より。『施術を売るのではなく、施術をした結果、こんな素敵な感じになるよ、というhappyな未来を売ろう』　（木藤　記）


太　田

❖春、4月といえば入学式。江戸時代の寺小屋などはいつでも入学OKだったようですが、明治になると西洋に習って9月になりました。その後、会計年度の開始が4月であることや軍隊の入隊届出開始が4月だったことから4月入学となり、大正時代には旧制高校も4月入学になりました。世界的には、夏休み明けなど、長い休みの後が多いようです。かくいう我が息子（6歳）も4月からピッカピッカの新1年生です。　（唐木　記）


木　藤

❖一度は脚光を浴びたSTAP細胞への疑惑が連日のように報道されるなか、紙管等を使って被災地に住宅や大聖堂を建てた坂茂氏が建築界のノーベル賞といわれる米プリツカー賞に輝いた。その斬新な建築方法から安全性が疑問視されたりしたようだが、建築家としての使命感に裏打ちされた仕事が認められたのだろう。消費税増税で消費者の目は厳しくなり、さまざま分野で値段と価値の天秤にかけられて評価を突き付けられる。そしてそれは、我々も同じであろう。　（五十嵐　記）


唐　木


五十嵐

ビバ・シティ 第7号　（平成26年４月20日発行）

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡２丁目3-26
TEL076-233-2122㈹　FAX076-233-2196
E-mail　ishiju@spacelan.ne.jp
■発行者／木山 時雨
■編集者／佐藤 裕之・錦川 孝彦・中野 秀人・小松 英夫・橋本 大衛
太田 信幸・木藤 正幸・唐木　均・五十嵐 久智



撮影　加賀支部　佐藤 裕之会員
使用カメラ:Nikon D3100
撮影データ:f/7.1　EX 1/250″
ISO100 焦点32mm
使用レンズ:TAMRON DiII 18-270㎜

［山中温泉総湯「菊の湯」のしだれ桜］

山中温泉は1300年前（天平時代）に開湯したとされ、総湯「菊の湯」の男湯はそれにちなんだ天平風の造りになっています。昭和30年に女湯が建てられて別棟になるまでは男女共同で使われていました。
平成4年に建て替えられましたが、外観をそのまま活かしたため男女二つあった玄関も残されました。
このしだれ桜は、建て替えの際に使われなくなった方の玄関口に植えられたもので、毎年可憐な花を咲かせて地元の人や観光客の撮影スポットとしても親しまれています。

公益社団法人 石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122㈹ FAX076-233-2196
E-mail　ishiju@spacelan.ne.jp